

Tapp

Tapplock **lite**  
ユーザーマニュアル

World's first smart fingerprint padlock

[Tapplock.com](http://Tapplock.com)





## 最先端の指紋技術

- 0.8秒でロック解除
- 最大100個の指紋を保存できます
- 適応アルゴリズム:使用するたびに、より迅速で正確なアクセス



## 共有可能なワイヤレスアクセス

- Tapplockアプリ経由でワイヤレスBluetoothアクセスをサポート
- 無制限のユーザーにリモートでアクセスを共有およびコントロールします
- 時間と場所によるアクセス履歴の表示 (Bluetooth開錠のみ)



## 充電式バッテリー

- 2時間の充電で最大8ヶ月稼働
- Tapplockアプリを使用して残量を確認する

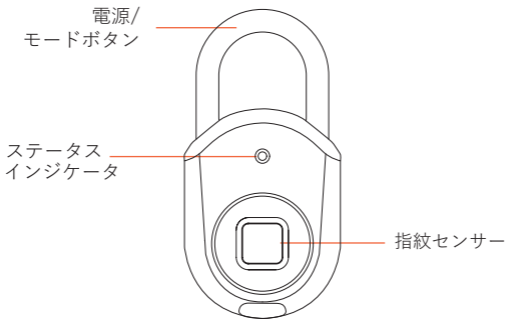


## モールスコードバックアップアクセス

- ユーザーの指紋が登録されておらず、電話の電池がなくなった場合に電源ボタンを使用してモールスコードを設定する

# 概要

正面図



底面図



## クイックスタート

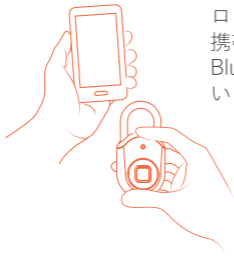
1

Google PlaystoreまたはiOS App StoreからTapplockアプリをダウンロードする。



2

Tapplockアプリに登録/ログインし、新しいTapplockを設定する手順に従ってください。

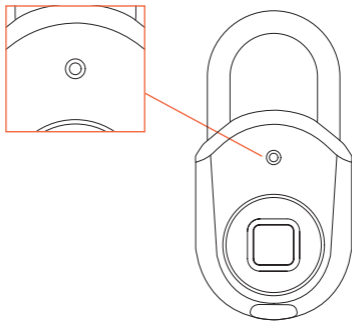


ロックを設定する前に、携帯電話の設定でBluetoothがオンになっていることを確認してくだ

## ステータスインジケータ

ステータスインジケータは、あなたのTaplock liteの状態を理解するための視覚的な手がかりです。

各色の意味を理解するために表を参照してください。



ステータスモード	機能/アクション	LEDカラー
指紋	電源ボタンを押す	白
	指紋認証しました	緑
	指紋認証できませんでした	赤
Bluetooth	電源ボタンを2回押す	青
	検索中	青
	接続しました	青
	Bluetooth経由でロック解除	緑
	ファームウェアのアップグレード	黄
モールス符号	電源ボタンを3回押す	紫
	長押し	白
	短押し	青
	モールス信号を修正する	緑
	モールス符号が違います	赤
ロックしました	ロックしました	緑
ロック状態	ロック解除しました	緑
充電中	充電中	赤
	満充電	緑
バッテリー残量が少ない	バッテリー残量30%	赤
	バッテリー残量20%	赤
	バッテリー残量10%	赤



## ロックを解除する3つの方法

Tapplock liteには複数のアクセス機能が装備されており、最大の利便性と柔軟性を実現しています。



指紋アクセス：0.8秒



Bluetoothアクセス：スマートフォンを使用したTapplockアプリ経由のBluetoothアクセス



モールス符号アクセス：ロングショート組み合わせを使用したバックアップアクセス

## 指紋モード

Tapplockをオンにするには、掛け金を押し下げます。ステータスインジケータのランプが白になり、Tapplockが指紋でロック解除する準備ができていることを表します。

指紋モードに入るのに問題がある場合は、ステータスインジケータライトが消えるまで掛け金を押し続け、ロックをスリープモードにします。次に、掛け金を押して指紋モードに入ります。

**\*\* Tapplockは、10秒間使用しないと自動的にスリープモードに入ります。これにより、バッテリーの寿命が延びます。**

## Bluetoothモード

Bluetoothモードを使用して電話を接続すると、次のことができます:

- アカウントに新しいTapplockを追加する
- あなたの携帯電話でロックを解除する
- 指紋の設定/削除
- モールス符号の設定

携帯端末とのペアリングのためにBluetoothモードに入るには、掛け金を2回押します。ステータスインジケータライトは青になります。

Bluetoothモードに移行できない場合は、ステータスインジケータライトが消えるまで掛け金を押し続け、ロックをスリープモードにしてください。その後、掛け金を2回押してBluetoothモードに入ります

。

## モールス符号について

モールス符号はバックアップアクセスモードです。それはあなたが掛け金を押す長短の組み合わせを使用してデバイスのロックを解除することができます。モールス符号では、指紋や電話なしで Taplock にアクセスできます。

カスタムモールスコードを設定するには、Taplock アプリの指示に従ってください。

モールスモードに入るには、掛け金を3回押します。ステータスインジケータライトは紫色になります。

モールス符号モードに移行するのに問題がある場合は、ステータスインジケータライトが消えるまで掛け金を押し続け、ロックをスリープモードにします。その後、ステータスインジケータライトが紫色に変わるまで電源ボタンを3回押します。

## **FCC notice**

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement. The device can be used in portable exposure condition without restriction.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause interference, and (2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement.

The device can be used in portable exposure condition without restriction.

[Tapplock.com/help/jp/](https://tapplock.com/help/jp/) に最新の情報、手順、FAQがあります。

メールでお問い合わせください：  
[support@whitestone-japan.com](mailto:support@whitestone-japan.com)



Tapp

Copyright © Tapplock Corp.